



出会い編

はじめの  
ひめごと...

はじめの



へよ  
結構好きなんだね



組みのいであら  
すげーイイイ

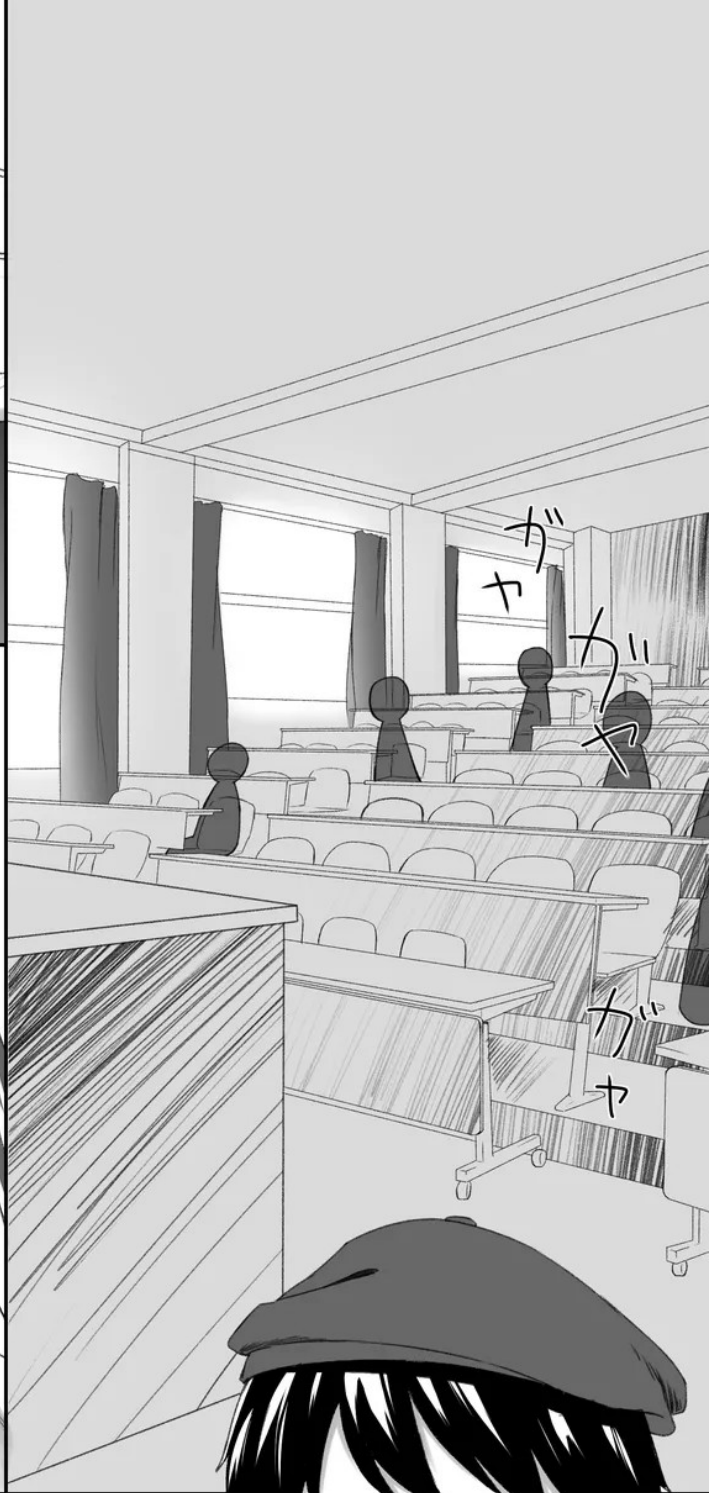
17

17











うん：  
一人前のパティシエに  
なれるチャンスなんだ  
でもきつとすぐに  
立派になって帰ってくるから  
信じて待っててほしい

うーん：少しだけ  
でも私初めてが  
広夢くんによかった  
……ねえ広夢くん？  
ホントに行っちゃうの？

……まだ痛かったりする？



やくそく……ね？

……うん  
わかった  
じゃあ……

モソ

うん  
約束だ

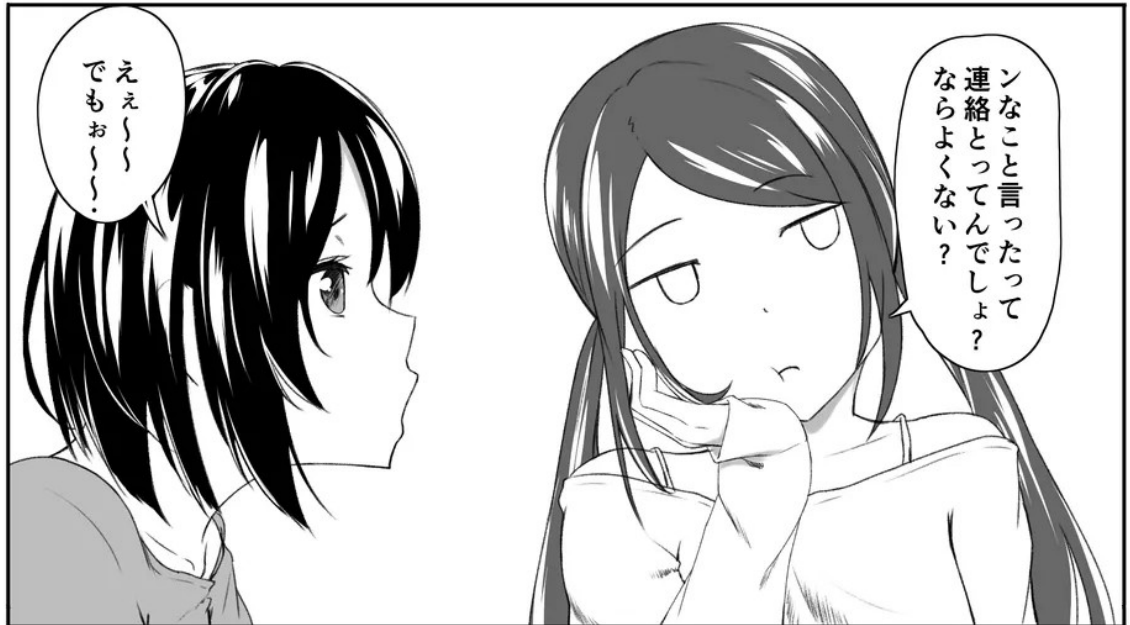


いっ

で……いざ離れたら寂しいと  
幸せなお悩み事ですこと……



ん〜



ええ〜  
でもお〜

んなこと言ったって  
連絡とってんでしょ？  
ならよくない？

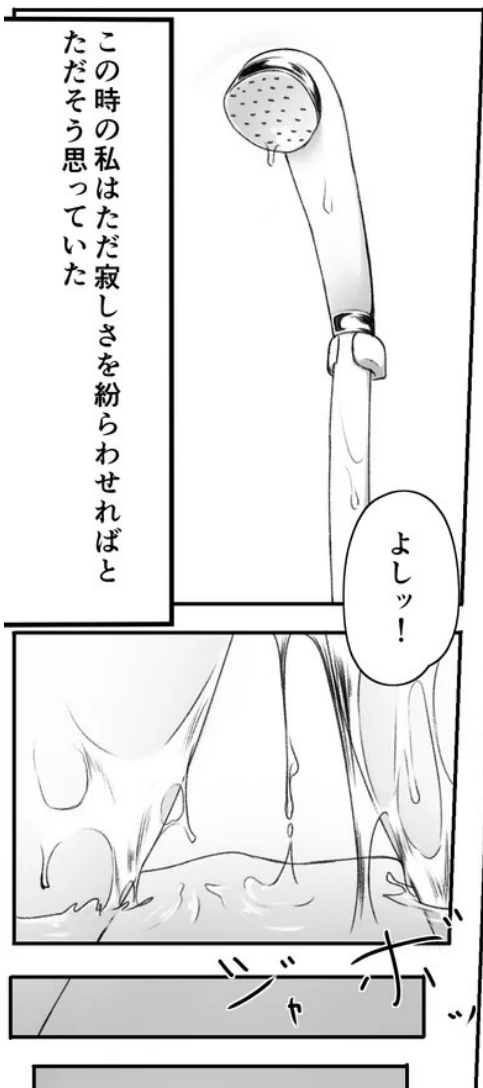


よし分かった！

カ  
タ  
ッ



わたしと一緒に  
サークル入ろっか！



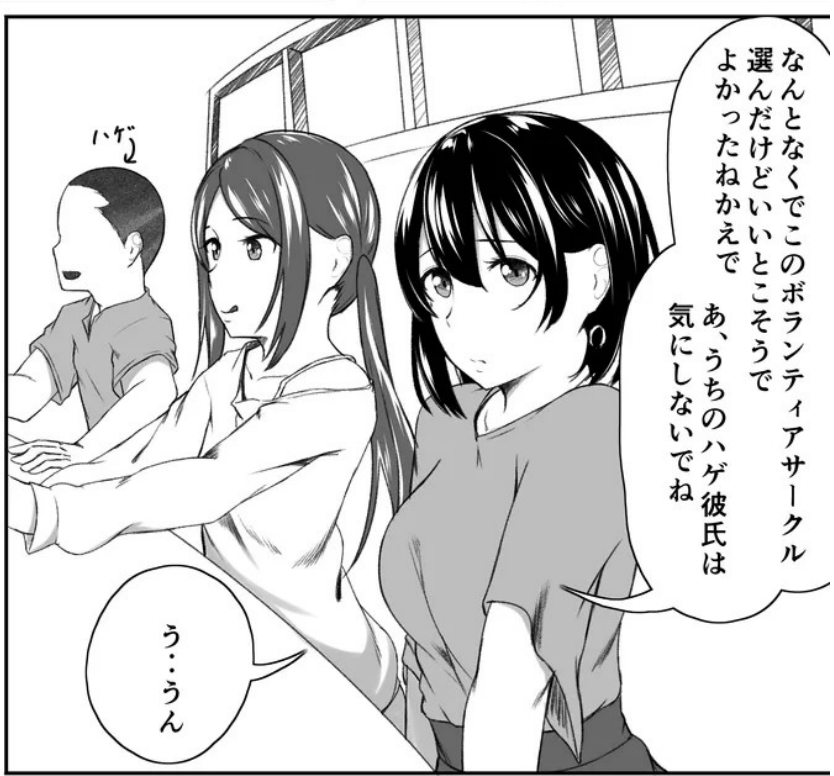


ここでの出会いが私を狂わすとも知らず...



ん!?目が合った!

あつあの人が部長さんだって聞いた話によると大学のイケメンランプリで一意な有名人なんだって



なんとなくでこのボランティアサークル選んだけどいいところそうでよかったねかえで あ、うちのハゲ彼氏は気にしないでね

う...うん



やあ君たち新人さんだよねたのしんでるかな?

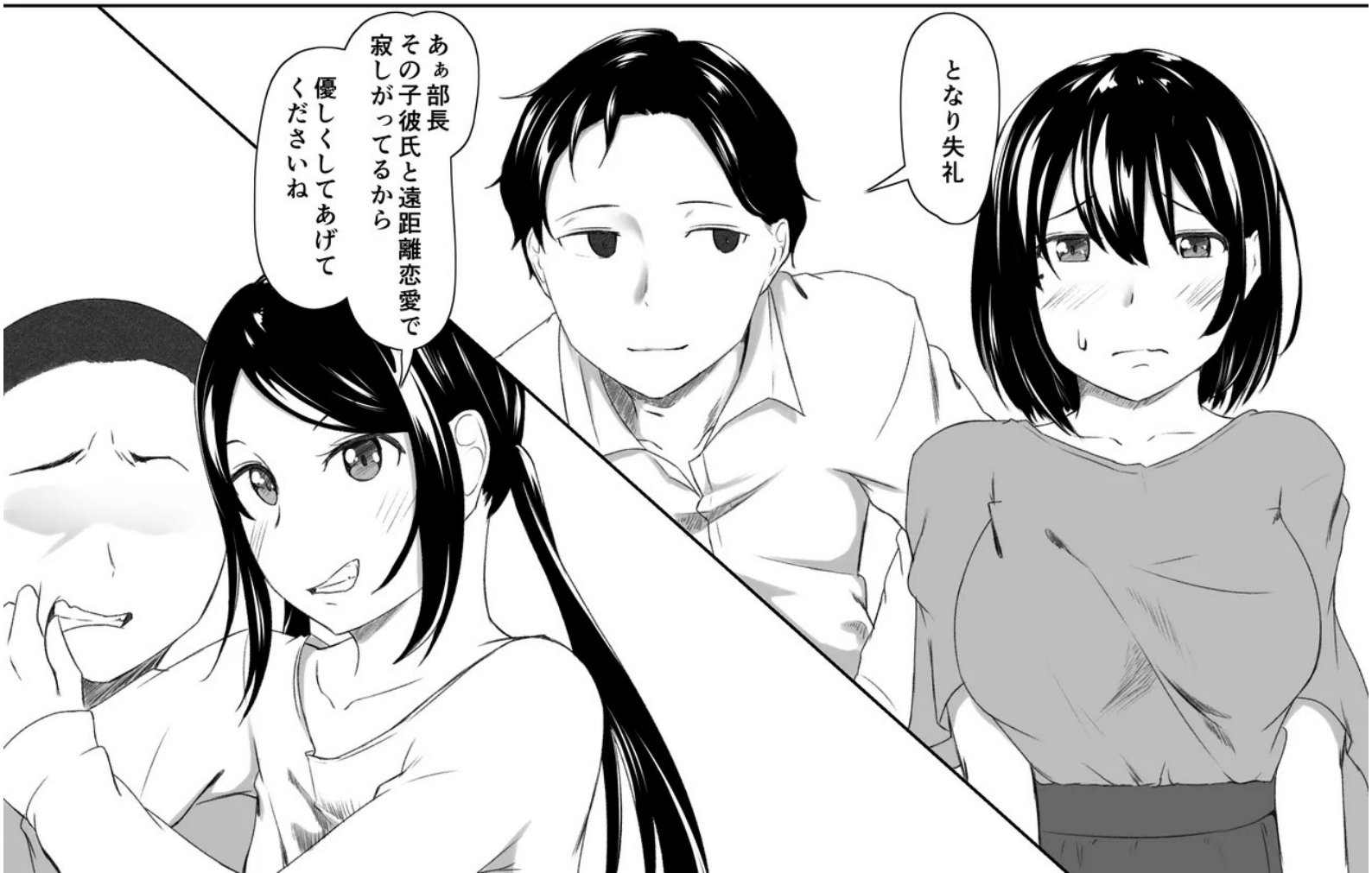
そりやあもう!  
ミスター慶安と知り合えるなんて  
あつ私優果って言います  
そっちの子はかえで



ははっ  
今年の新人は元気だね  
かえでちゃんだったっけ？  
お酒どうぞ

やっ：  
私あんまりお酒得意じゃ：

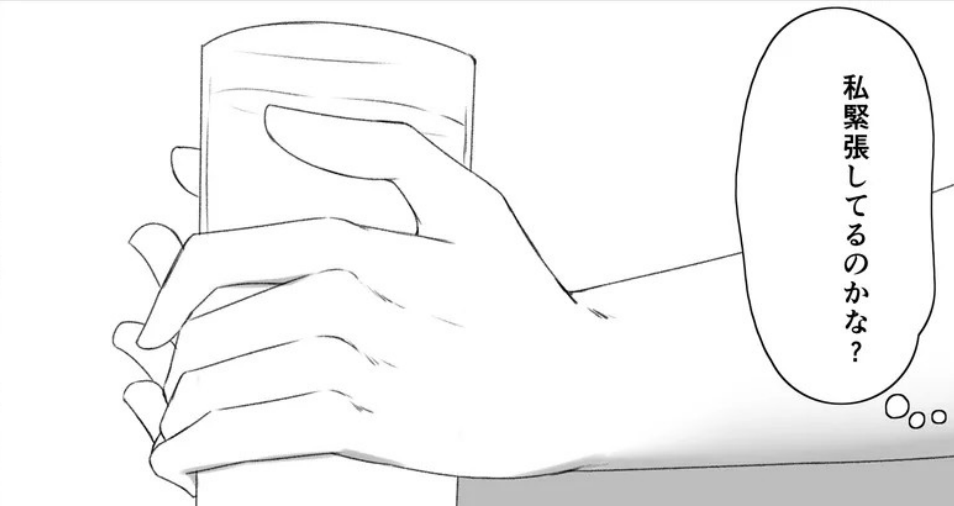
ハァ？  
嫁あて



となり失礼

ああ部長  
その子彼氏と遠距離恋愛で  
寂しがつてるから  
優しくしてあげて  
くださいね

あー  
うん



普段は知らない男の人に  
気を許すことも  
しないというのに：

ポ〜

酔った私の身体は  
この男に気を許し  
寂しい心の内を  
打ち明けてしまっていた



サ〜



…さて  
二人っきりになっちゃったね  
じゃあ…行こうか

ひろ…む…

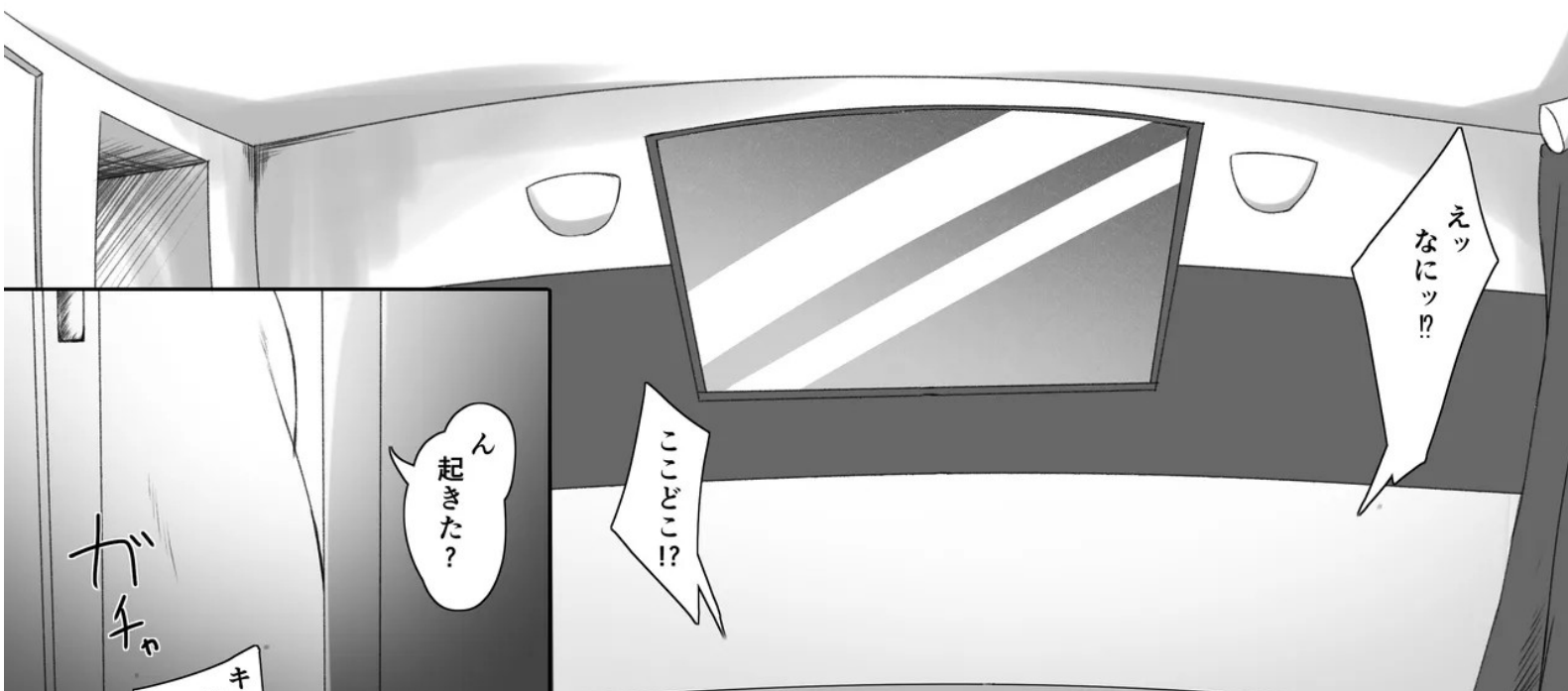


ふも〜うバイバイ  
二次回行くぞ



あれ？

んん…



えッ  
なにッ!?

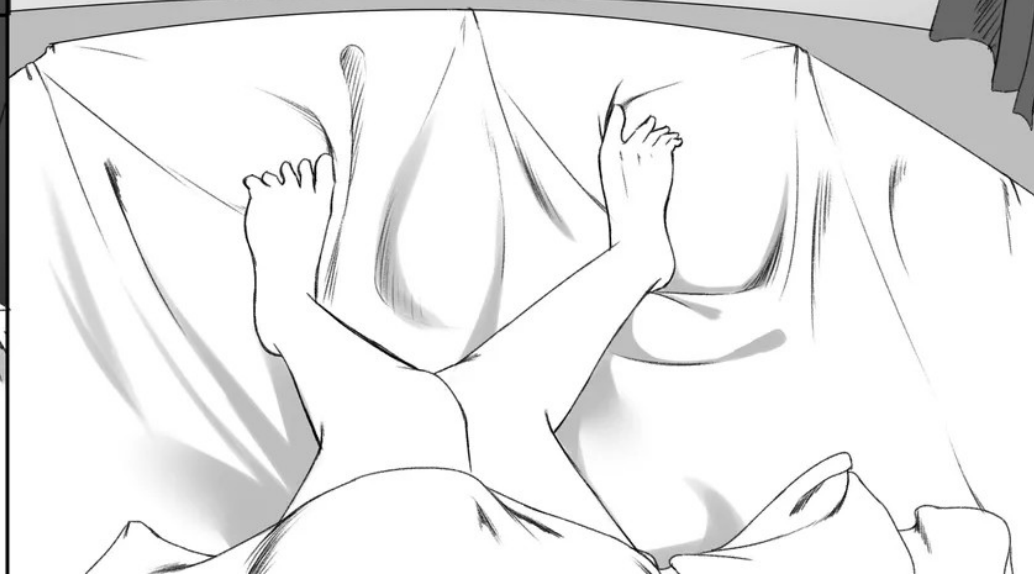
こ…こ…!  
!?

ん  
起きた？

ガッ



キヤッ!!  
ぶちよ…??  
え・裸ッ  
なにこれッ!?



ああやっぱ覚えてないんだ  
その感じじゃ  
今君も裸なのも分かって  
ないんじゃないの？

やッ嘘・  
なんでッ!!

わ・私帰ります!!

ん・僕はいいんだけどさ  
さっきはあんなに求めて来たのに  
いいの？

え・？



こんなふうにする



え...?  
何...これ??

画面の中に  
自分とは思えない  
淫らな女がそこにはいた

も...  
はやく...

僕はただかえでちゃんの  
寂しさを埋めてあげた  
だけなんだけどなあ



う...

あ...  
ま...

嘘...こんなの...  
ちがつ...私じゃッ!!



キミだよ

なんで？  
僕はキミが悪いとは思わないけどね

スス...

ツツ

こんなの見たら彼氏君  
びっくりするかな？

...消して...  
くださいッ...

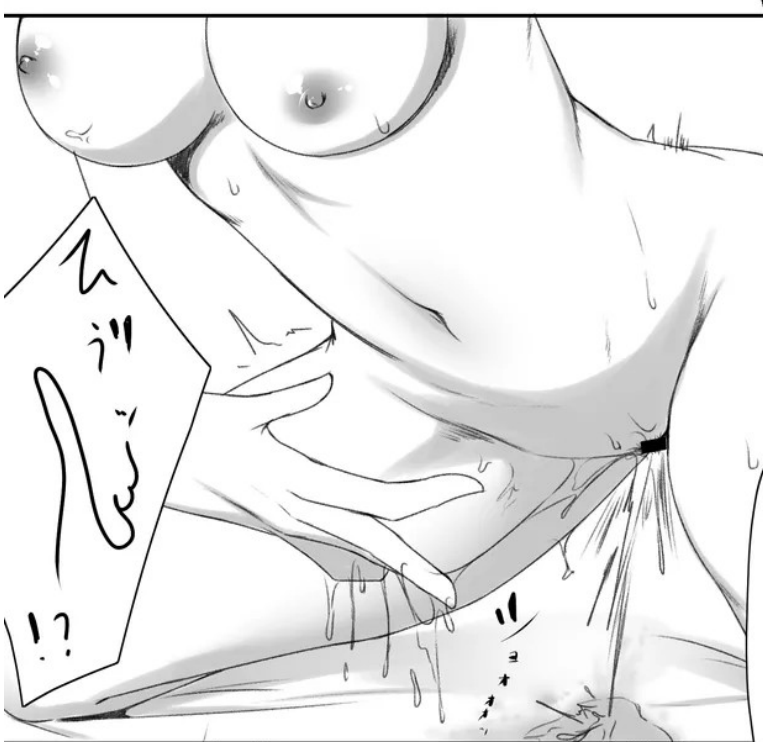
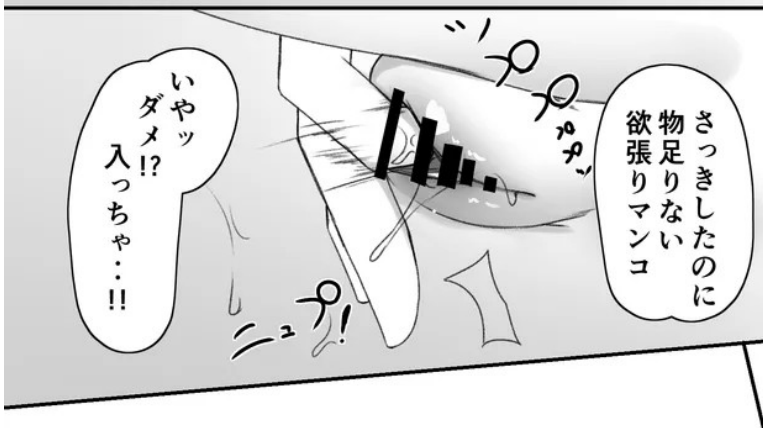
キミも好きな人にほっとかれて  
寂しいんだもん

しょうがないよね

ツツ

ツツ







このままじゃ：  
ダメ・逃げたいのに力が：  
あたまの中真っ白で：

んゝまだ固いかな  
じゃあ次かえでちゃんイッたら  
浮気確定ってことで  
僕も本気出そうかな

そ・そう  
こんなの浮気で：  
こんなのだめッ！

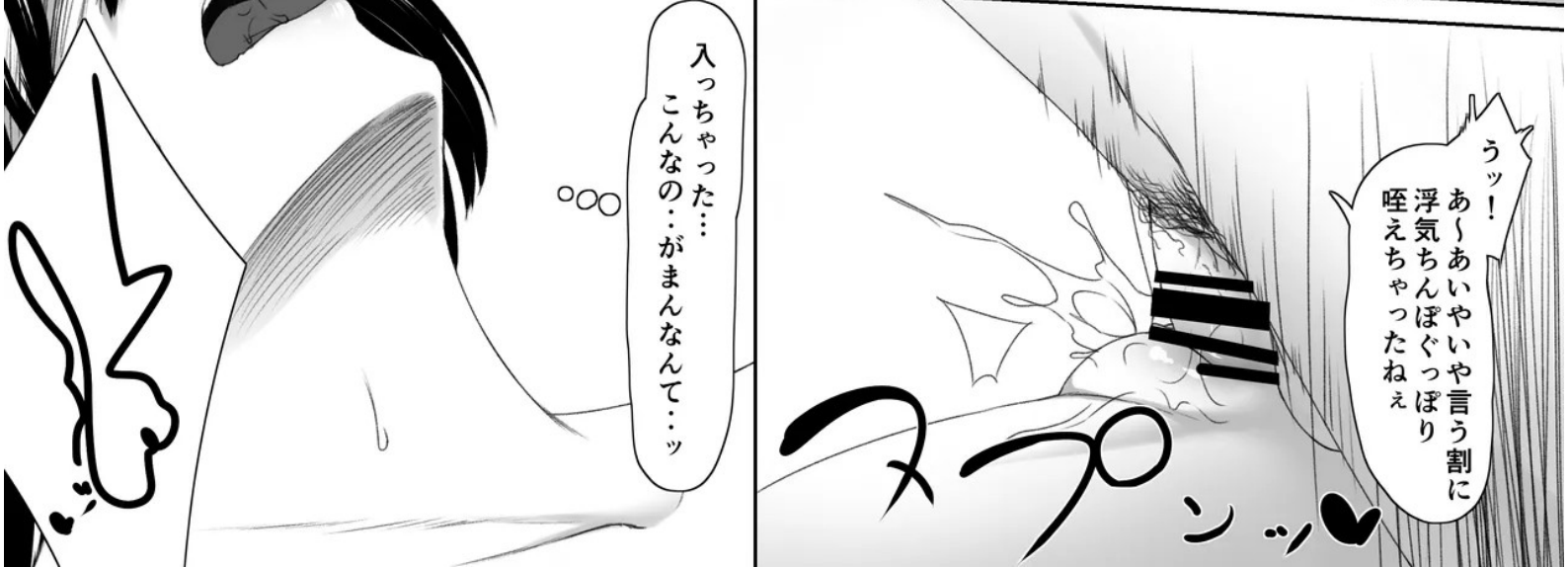


なにそれ  
それで抵抗してるつもり？  
どんどん入っちゃおうよ？

ほら  
もっと素直になりなよ  
さらけ出せば気持ちいいよ？

ふっ！！

だめ：  
力が：ッ



うッ！  
あゝあいやいや言う割に  
浮気ちゃんぽぐっぼり  
唾えちやっただねえ

入っちゃった：  
こんなの・がまんなんて：ッ





ああ・よかった

いっしょに  
しよっ

あゝあ  
抜けちゃった

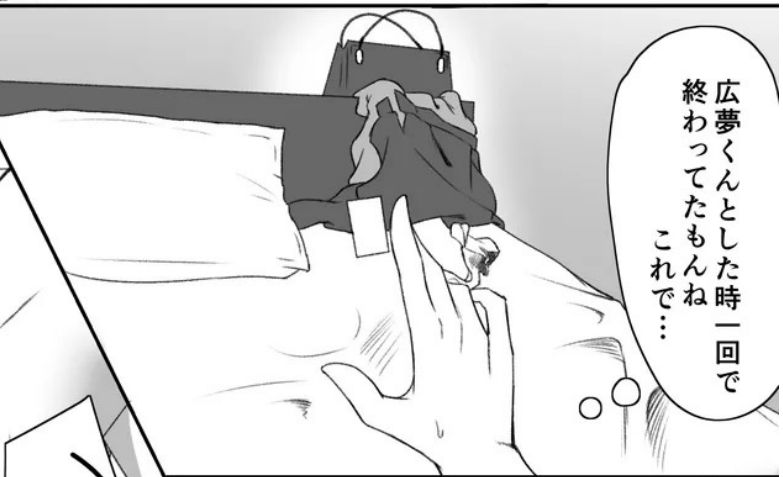


ヤバッ  
で  
射精るッ!!  
あっ

ああッ  
マンコ締めすぎ!



安心して  
かえでちゃん  
イカせるまで  
終わらないから



広夢くんとした時一回で  
終わってたもんね  
これで...



何してんの?

ガシッ

私は逃げられなかった  
彼の腕の中から





あなた  
なんかでッ

そん…な  
わけ…



ほらそろそろ  
イキそうじゃない？



へえ  
結構強情なんだね

ますますそそるね  
…わかった



ほら  
いけ

気持ち…いいの？  
終わり？



「気持ちいいの私の  
中にいっぱいください」  
って言えば終わりにしてあげるよ



よくわかんない…  
もう考えるの疲れちゃった  
もういいや  
これで終わるなら

そうして  
すべてを  
受け入れた瞬間

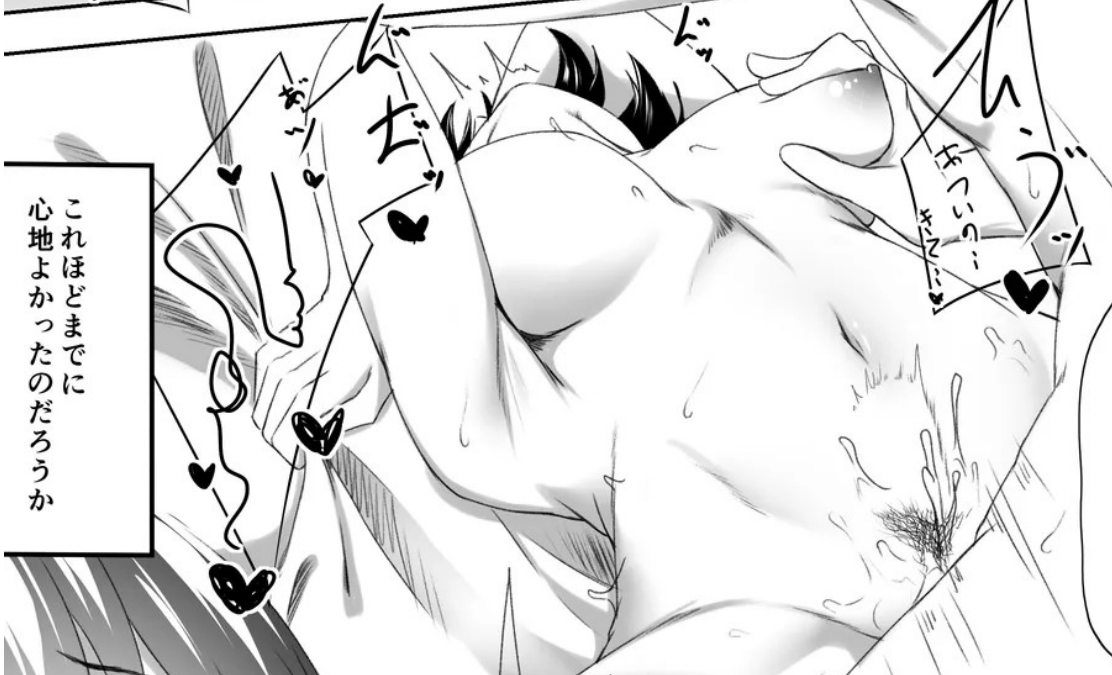


ん?  
もっと大きな声で

なか…に…

手もかいいの…  
私のなか

絶対しちゃいけない  
広夢くんも未経験な  
初膣内射精は



ああ  
奥にたっぷり…  
種付けしてやるよッ!

これほどまでに  
心地よかったのだろうか





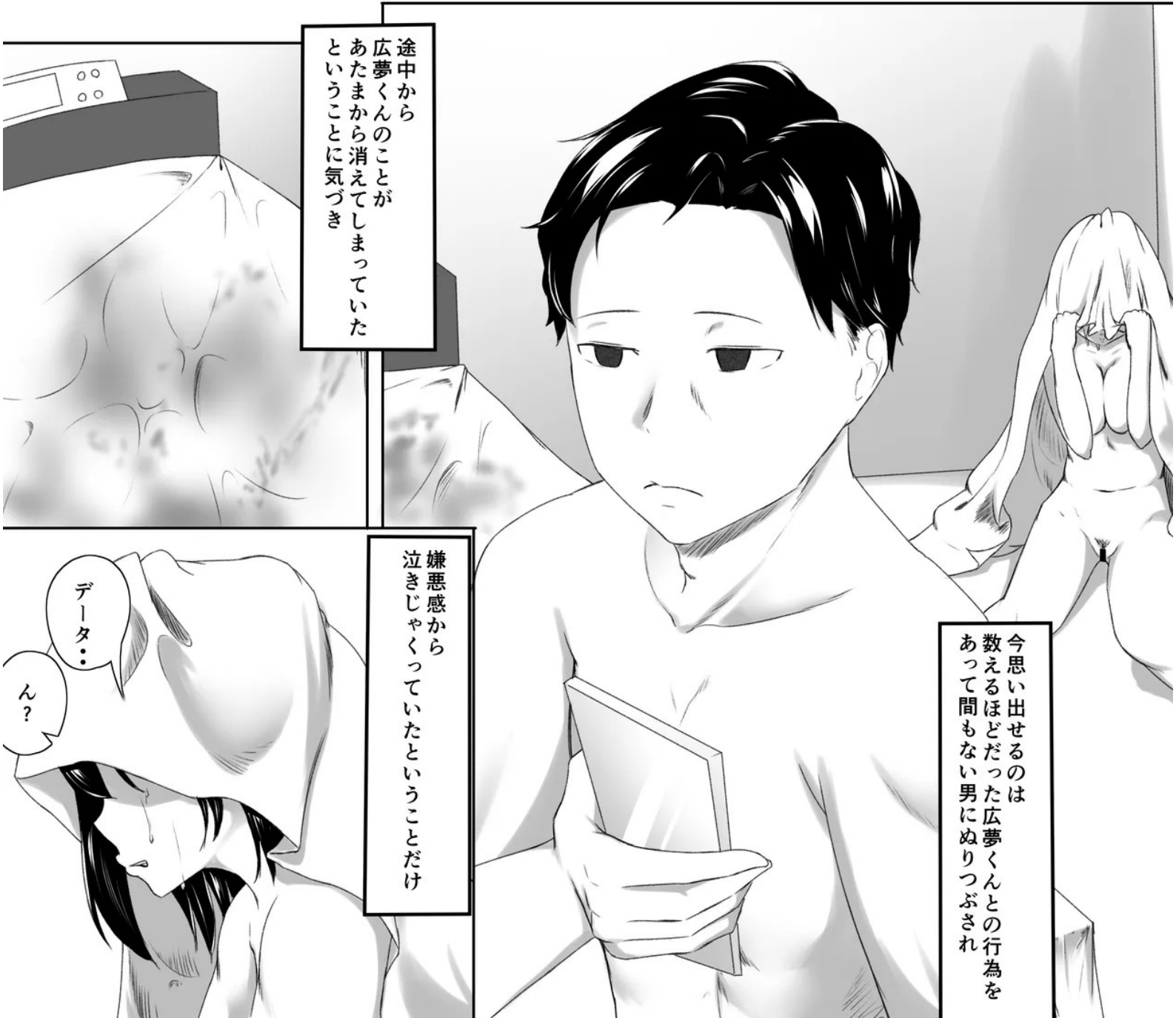
ハハッ  
やりすぎてまんこ閉じなく  
なっちゃったね

かえでちゃんのおまんこは  
浮気ちゃんぽに  
負けちゃいましたと

これで何回目だっけ  
こんなにイっちゃったら  
かえでちゃんも気持ちよかったよね

結局その後も  
幾度となく犯され  
半分記憶が飛んでいた

アアア  
ト  
オ



途中から  
広夢くんのが  
あたまから消えてしまっていた  
ということに気づき

嫌悪感から  
泣きじゃくっていたということだけ

今思い出せるのは  
数えるほどだった広夢くんとの行為を  
あつて間もない男にぬりつぶされ

データ：  
ん？



データ：  
消してください

ん  
それはかえでちゃんの  
やる気次第じゃないかな  
君は命令できる立場じゃないよね？

そんなッ  
私：こんなの：ッ  
広夢くんにはバレたら！



じゃあどうすればいいか  
分かるよね？

そうしてこの日から  
愛する人を裏切り続ける  
日々が始まりました

**そして更なる裏切りへ…**

to be continued、、